

## 2 宇都宮の伝統文化

- 1 宇都宮の百人一首 ..... 48
- 2 宇都宮の唄と民話 ..... 54
- 3 宇都宮の祭り（みんぞく）と民俗芸能 ..... 62
- 4 宇都宮の伝統工芸 ..... 72
- 5 宇都宮の郷土料理（きょうど） ..... 78



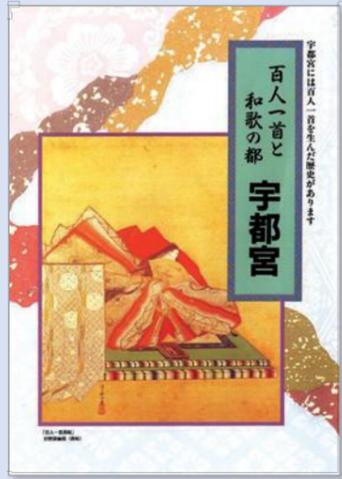
# 1 宇都宮の百人一首



4年 → 国語 ● 百人一首の世界  
 5年 → 国語 ● 和の文化について調べよう ● 古文のえがく四季 ● 古文に親しむ  
 6年 → 国語 ● いにしえの言葉に学ぶ 社会 ● 貴族のくらし ● 武士の世の中へ  
 ◆ 学級活動 ◆ クラブ活動

## わかるかな?

「小倉百人一首」の中の、下の①～④の「上の句」と対応する「下の句」を、線で結んでみましょう。



▲『百人一首と和歌の都 宇都宮』リーフレット

① ちはやぶる かみよもきかず たつたがは	② こぬひと まつほのうらの ゆふなぎに	③ めぐりあひて みしやそれとも わかぬまに	④ あきのたの かりほのいほの とまをあらみ
・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
やくやもし ほのみもこ かれつつ	くもかくれ にしよはの つきかな	わかころも てはつつゆに ぬれつつ	からくれな みにみつく くるとは

## 百人一首を生んだ和歌のまち 宇都宮

競技かるたとしても有名な「小倉百人一首」は、昔の日本の百人の歌人たちが詠んだ和歌を、一人一首ずつ集めたものです。実は、宇都宮が、この百人一首の成立に大きく関わっています。

宇都宮は、「百人一首のまち」や「和歌のまち」と言われているのは、どうして？

私は、宇都宮の百人一首大会に出場したことがあるよ。



百人一首のまち 宇都宮



うつのみや百人一首 市民大会



宇都宮と百人一首の関係について話し合ってみましょう。



うつのみや百人一首 マスコットキャラクターの「みやびい」

おののこまち 小野小町がモデル。宇都宮の「宮」と日本の伝統的な美しさを表す「雅」の言葉を合わせたよ。



### 学習問題

なぜ宇都宮は百人一首と和歌のまちと言われているのでしょうか。



## 調べる

宇都宮と百人一首や和歌との関わりについて調べよう。

3

蓮生はますます和歌が好きになりました。また、当時は屋敷の襖に和歌をしたためた色紙を貼ることがはやっていました。そこで、蓮生は定家にお願いをすることにしました。この「小倉山荘色紙和歌」こそ、のちの「小倉百人一首」のもととなったものです。つまり、「小倉百人一首」の成立には、蓮生が深く関わっていたのです。

1

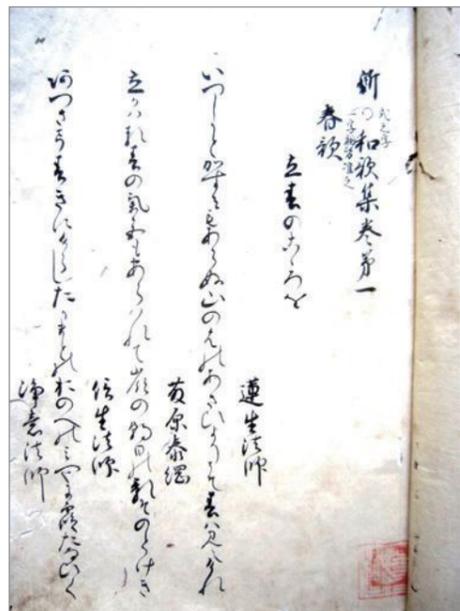
むかし、むかし、わたしたちのまち、宇都宮に和歌の好きなお殿さまがおりました。名は宇都宮頼綱、宇都宮城主です。鎌倉時代の宇都宮城主はたいへんな力があり、関東有数とうたわれていました。

4

江戸時代になると百人一首は、絵や芸能、工芸品の題材として好んで使われ、また、文字や日本人の心を学ぶ文学として広く庶民に愛されるようになりました。やがて、それは「百人一首かるた」を生み、みんなが楽しめる遊びとなりました。このように、日本の文化を代表する百人一首が私たちのまち宇都宮に深く関係があることを誇りに思いながら、和歌やかるたを楽しんでいきたいですね。

2

しかし、幕府から謀反の疑いをかけられ、お城と宇都宮の人々を守るため、やむをえず、出家し、京都に住むことになりました。頼綱は法名を蓮生入道と名乗り、当代随一の歌人、藤原定家と親しくなります。やがて、蓮生の娘と定家の息子が為家は結婚し、両家は親戚になったのでした。



▲紙本墨書新式和歌集 (二荒山神社蔵)

## 宇都宮歌壇と蓮生

宇都宮を中心に歌会がたびたび開かれ、宇都宮一族の中からも多くの歌人が生まれ、宇都宮で和歌の文化が花開きました。こうしたことから、和歌の盛んな土地として宇都宮は、京都、鎌倉につぐ、宇都宮歌壇とよばれていました。左の「新式和歌集は、蓮生と定家の孫にあたる藤原為氏によって集められたもので、宇都宮一族の歌人だけではなく、京都や鎌倉を代表する歌人が名を連ねています。これら、京都、鎌倉につぐ、和歌の文化を作り上げ、宇都宮歌壇の基礎を作ったのは、蓮生なのです。



◀百人一首大会の様子



◀ギネス世界記録達成時の集合写真

### 今も続く 百人一首と和歌のまち宇都宮

宇都宮市では、平成7年から「うつのみや百人一首市民大会」が開催され、毎年多くの方が参加しており、市民大会としては国内最大の規模を誇っています。令和元年10月27日に開かれた第25回市民大会の予選第1回戦では、「同時にかかるた遊びをした最多人数」のギネス世界記録に挑戦し、701人で認定されました。また、平成26年からは、全国のトップレベルのかかるた競技者が集まる、「蓮生記念 全国競技かるた宇都宮大会」が毎年開催されており、毎年レベルの高い競技がくり広げられています。



**百人一首ルールブック**  
宇都宮市教育委員会では、競技かるたのルールをまとめたルールブックを作成しています。市民大会に参加する前に見てみよう！

◀百人一首いろは新聞



**百人一首アニメ「カルタるっ!？」**  
百人一首のおもしろさや百人一首ゆかりの地であることのをわかりやすく紹介するDVD「カルタるっ!？」を文星芸術大学の協力のもと作成し、市内の小中学校に配付しています。



## まとめる

宇都宮と百人一首や和歌との関わりについて調べたことをまとめてみましょう。

宇都宮と百人一首や和歌との歴史	● 宇都宮頼綱 (蓮生)      ● 蓮生と定家      ● 宇都宮歌壇
今も続く百人一首と和歌のまち宇都宮	● 百人一首大会

## ひろげる

宇都宮と百人一首や和歌との関わりについてまとめて、考えてみましょう。

800年前、宇都宮頼綱の和歌への熱い思いと、日本を代表する歌人藤原定家とのきずなが、小倉百人一首を生み出しました。京都・鎌倉と並び、和歌がさかんだった鎌倉時代の宇都宮。宇都宮氏が和歌を愛した心は、「百人一首と和歌のまち 宇都宮」として、現代に受けつがれています。



# 和歌のまち うつのみや

## 百人一首の成立に深く関わった 蓮生と定家



▲宇都宮頼綱（蓮生）  
（京都三鈷寺蔵）



▲藤原定家  
（常寂光寺蔵）

### 宇都宮頼綱（蓮生）

宇都宮氏は、鎌倉幕府の要職につく有力な御家人でした。5代城主宇都宮頼綱のときには、幕府の執権である北条氏と親戚関係となり、幕府の中でますます力をつけていきました。

しかし、頼綱は幕府から謀反の疑いをかけられてしまい、宇都宮城と民を守るため、やむを得ず出家しました。出家した後、頼綱は蓮生と名前を変え、京都に移り住むようになりました。京都で藤原定家と出会い、小倉百人一首のもとになる色紙和歌の依頼をしました。

京都に移り住んだ後も、鎌倉幕府に仕え、6代泰綱や7代景綱を支えていました。

### 藤原定家

平安時代の終わりから、鎌倉時代初めにかけて活躍した日本を代表する歌人。「新古今和歌集」、「新勅撰和歌集」の撰者の一人として作品を選びました。

蓮生（頼綱）から小倉山荘の襖に貼る色紙歌を依頼され、小倉百人一首のもととなる「百人秀歌」を選んだとされています。

## 藤原定家の日記「明月記」

藤原定家が残した日記「明月記」には、蓮生からの色紙歌の依頼について書かれています。

皇をより送る。以来、家隆、雅経に及ぶ（略）  
て見苦しき古来の人の歌、各一首（略）  
に書くべき事由、彼の入道に筆を染め、  
（略）嵯峨中院の障子の色紙形、  
嘉禎元年五月廿七日（己未）

#### 【解説】

「1235年5月27日 嵯峨にある山荘の障子に貼る色紙和歌を選んでほしいと、彼の入道（蓮生）がお願いしてきた。選ぶのはむずかしかったが、筆で書いて送ってあげた。昔からの歌を一首ずつ、天智天皇から家隆、雅経までになった。」とあるように、このとき、定家によって選ばれた色紙歌が『百人秀歌』と考えられており、後に後鳥羽院や順徳院の歌を加えて整理されて、小倉百人一首の原形になったと言われています。

## 藤原定家（権中納言定家）の百人一首

来ぬ人を  
まつほの浦の  
夕なぎに  
焼くやもしほの  
身もこがれつつ

権中納言定家

#### 【解説】

「いつまでたっても来ぬ人を待っている私は、松帆の浦の夕なぎのときに焼かれている藻塩のように、身も焦がれる思いです。」と、いくら待っても来てくれない恋人への思いが表現されています。

松帆の浦…兵庫県淡路島の海岸の地名。「松」と「待つ」が掛詞になっています。

もしほ…藻塩。海藻からとる塩。  
夕なぎ…夕風。夕方風が止んで海が静かになった状態。

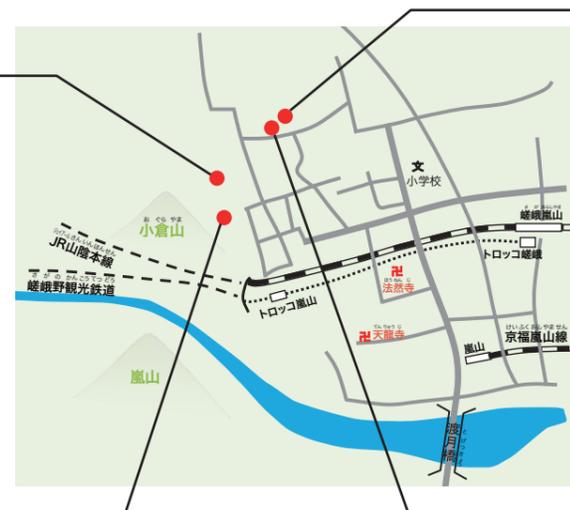
## 京都に残る 百人一首ゆかりの地



▲二尊院  
定家の山荘があったといわれる場所の一つ。



▲常寂光寺  
定家の山荘があったといわれる場所の一つ。ここでは、「藤原定家山荘跡」、「小倉百人一首編纂之地」と書かれた石碑があります。



▲厭離庵  
定家の山荘があったといわれる場所の一つ。



▲中院山荘跡  
蓮生の山荘があったといわれる場所。蓮生は、ここにあった山荘の襖に貼る色紙歌を定家に依頼しました。



▲藤原定家山荘跡



▲「小倉百人一首編纂之地」石碑

## 鎌倉にもある 宇都宮氏ゆかりの場所

### 宇都宮稲荷神社

鎌倉市に、宇都宮稲荷神社という名前の神社があります。ここでは、宇都宮氏の屋敷があったといわれており、家の前の通りを宇都宮辻とよんでいました。

この付近に、11年の間、鎌倉幕府の中心地が置かれたこともあり、その当時の幕府は「宇都宮辻子幕府」とよばれていました。宇都宮氏の屋敷の近くに、幕府の中心地があったことから、宇都宮氏は鎌倉幕府からかなり信頼されていたことがうかがえます。



▲現在の宇都宮稲荷神社



宇都宮稲荷神社  
所在地 鎌倉市小町2丁目15  
鎌倉駅から徒歩で約10分  
雪ノ下教会と鎌倉彫資料館の間の道を入り右側

# 2 宇都宮の唄と民話

うた



▲だいだら坊の岩

## わかるかな？

下の①～④のイラストは、宇都宮に伝わるどの民話をえがいたものでしょうか？  
名前と番号を線で結んでみましょう。



①

②

③

④

あせ あみだ  
汗かき阿弥陀

だいず さんつぶ かなぶつ  
大豆三粒の金仏

こうしごら  
孝子桜

つ てんじょう  
釣り天井



## つかむ

宇都宮の唄と民話について話し合ってみましょう。

### ことば

「歌」と「唄」は、何がちがうの？

どちらの漢字も意味は同じですが、「唄」という漢字は邦楽や民謡に関する言葉として使用されることが多いようです。

「唄」という漢字には、「仏をたたえてうたう」という意味があり、仏教が庶民を救う宗教であったことから、「唄」という漢字に、庶民的で民俗的なイメージがついたとも言われています。

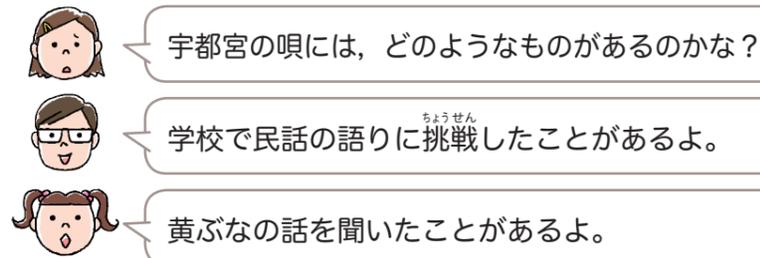
## 学習問題

宇都宮に伝わる唄や民話には、どんなものがあるのでしょうか。

## 歌い、語りつがれてきた生き様

宇都宮には、昔から歌いつがれてきた唄や、語りつがれてきた昔話・伝説などの民話がたくさん残されています。それらの唄や民話には、当時の宇都宮の人々の生活の様子や人々が大切にしていた宮っこの思いがつまっています。

宇都宮の唄や民話にはどのようなものがあるのでしょうか。調べていきましょう。



関連する  
単元だよ

- 3年 → 社会 ●わたしたちの市や生活の様子のおつきあわり
- 4年 → 社会 ●栃木県で受けつがれてきた伝統や文化ざい
- 5年 → 音楽 ●日本の民謡をたずねて
- 6年 → 社会 ●戦国の世から天下統一へ ●江戸幕府と政治の安定



## 調べる

宇都宮に伝わる唄や民話について調べよう。

## 宇都宮に伝わる唄

人々が生活を送り、仕事を行う際に、自然発生的に歌われ、現在も歌いつがれている唄（歌）が宇都宮にもあります。重い材木や石材などを運ぶときに歌われた作業唄である『宇都宮とびきや蔦木遣り』、篠井金山の坑夫によって歌われていた『篠井のかなほりうた金堀唄』、草刈り作業の行き帰りに歌われた『草刈り唄』があります。そのほかにも、徳次郎宿の良さを歌った『徳次郎節』や鬼怒川下りに船頭が歌った『鬼怒の船頭唄』などがあります。

→ p.58, 59



▲金堀唄の演奏



▲金堀唄



▲蔦木遣り



宇都宮蔦木遣り唄の歌詞は全て口で伝えられ、全部で37種あるそうだよ。



木遣り唄と合わせて、「宮まつり」や正月の出初めしきひろう披露されている梯子乗りも伝承されているんだって。

## 蔦木遣り

### 1. まなづる



### 2. てこ





▲民話の語り

## 宇都宮に伝わる民話

民話には「むかし むかし」で語り始められる「昔話」と、土地に結び付いた言い伝えである「伝説」があります。各地に、人物にまつわる話、植物や動物にまつわる話、神社やお寺にまつわる話など、伝説として現代まで言い伝えられたさまざまな民話があります。



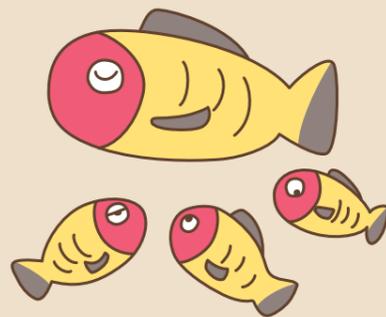
### 黄ぶなのお話

昔、宇都宮の町で天然痘という病気がはやって、多くの子どもたちがかかりました。高熱が続き体中にぶつぶつができて、子どもたちに次々にうつり、多くの子どもがなくなっていました。町中の人々は、おそれおののきました。昔のことなので、原因も分からず、お医者さんにみてもらえるのは、との様か金持ちだけでした。民衆は、戸をしめ切り神様や仏様にいのるほかに方法がありませんでした。

そんな町の中に、信心深い漁師がいて、一人息子もその病にかかってしまい、今まで以上に神様に「どうか息子を助けてください。」とけんめいに祈りました。すると、「黄色いぶなを食べさせると治るぞ。」と、神様のお告げの聲が聞こえました。漁師はさっそく田川に行ってあみを投げると、本当に大きな黄色いりっぱな

ぶながとれました。子どもに食べさせると、不思議に熱は下がり、元気になりました。

そこで、神様の御利益を感謝し、本物の黄ぶなの代わりに、張り子の黄ぶなを作って神だなにそなえ、無病息災を祈りました。それから話を聞き知った人たちはみな、張り子の黄ぶなを作り、神だなにおそなえしました。それ以来、天然痘がはやっても病気にかかる子どもはいませんでした。



◀黄ぶな



正月の初詣や初市で売られている黄ぶなには、そんな秘密があったんだね。



黄ぶなが折れる、折り紙もあるみたいだよ。



他にもいろいろな民話があるよ。調べてみよう。

→ p.60

## まとめる



宇都宮の唄や民話についてまとめてみましょう。

宇都宮の唄	
宇都宮の民話	



## ひろげる

宇都宮の唄と民話についてまとめて、考えてみましょう。

物考にしましょう  
本

昔から、歌いつがれ、語りつがれてきた唄や民話には、当時の人々の生活の様子や人々が大切にしていた宮っこの思いがつまっています。私たちは、これからも昔の人たちの思いや苦勞を大切に、歌いつぎ、語りつぐことで、未来へとつないでいけるといいですね。



宇都宮の唄

木遣り唄と梯子乗り

労働歌として歌われた宇都宮の木遣り唄は、言い伝えによれば徳川家光の日光東照宮の建設と関係が深く、このとき、全国から大工や塗師、鳶などが集められ、冬の間宇都宮に宿泊させられました。このとき、かれらの間で歌われていた木遣りが宇都宮の職人に伝えられ、そこに独特な節回し加わって現在の形になったと言われています。

木遣りといえば梯子乗りを思いうかべる方も多いと思いますが、梯子乗りは、鳶職人たちが準備体操や度胸試しの訓練として行っていたことから、木遣り唄とともに披露されるようになりました。イベントの花形である梯子乗りですが、木遣りの本来の主役は唄なのです。



▲木遣り梯子

鳶木遣り 出初の一覧

木遣りと合わせて梯子乗りも伝承されています。これは、梯子の上やとちゅうでさまざまな芸を行うものです。

- しゃちほこ
- 遠見
- 腹亀
- 谷のぞき

どれもみんなカッコイイけど、どの技が好き？



先人の知恵や工夫

篠井の金堀唄と草刈り唄

篠井の金堀唄は、「江戸時代の寛文年間、水戸の佐竹氏が支配していた、篠井金山の抗夫たちによって歌われたのが始まり」と言われています。

その後、時代を経るごとに歌詞・節ともに変化し、近代化して今日に伝わっています。単調でつらい労働から気をまぎらわすために歌われていた作業唄で、当時の労働の素朴な感情を表現しています。



金堀唄

- 1 ハッパかければ 切羽が延びる 延びる切羽が金となる ハア、チンチン
- 2 曇るガンガラ 宝の山よ 里に黄金が流れでる ハア、チンチン
- 3 抗夫さんなら 来ないでくれ ひとり娘の 気をそらす ハア、チンチン
- 4 ひびく鈍音 女房が聞けば 黄金をあつめて 背負い出す ハア、チンチン
- 5 右に鈍持ち 左に手金 ひとつ打つたび 火花散る ハア、チンチン
- 6 灯蓋ともして 黄金を掘れば 黄金色で 目がくらむ ハア、チンチン
- 7 佐竹奉行は おれらの主よ 恵み厚きで 精が出る ハア、チンチン
- 8 夫婦揃うて 黄金を掘れば いつかわがやに 煙立つ ハア、チンチン

徳次郎節 (徳次郎町)

徳次郎節は、徳次郎町および近辺の富屋地区で歌いつがれている民謡です。江戸時代、同町は日光道中の宿場町として栄え、旅籠や店が軒を連ねました。唄の起源は宿場で働く越後生まれの茶屋娘が、故郷恋しさに歌っていた唄を宿に通っていた人たちがまねて歌ったのが始まりとされています。唄の一節に「なぜか越後は山のかげヨー」の文句があります。

歌詞の基本は七・七・七・五調で、文句の後に「ヨー」が入る素朴な曲調です。昭和期の戦前まで、宴席で広く歌われてきましたが、戦後は下火となりました。しかし、1972(昭和47)年、民謡作曲家の金子嗣懂による本格的な編曲と、同町の篠原嗣賢の見事な歌い上げによって、一躍郷土の民謡になりました。1983(昭和58)年には富屋地区で徳次郎節大会が開かれ、さらに1996(平成8)年には、市制100周年記念事業として、元の唄が楽譜に書き起こされるとともに、徳次郎節保存会が組織されました。

「徳次郎よいとこだよ西北山でヨ～ 東川風ヨ～ そよそよとヨ～」  
 「障子開ければ門前田中ヨ～ なぜか越後はヨ～ 山のかげヨ～」  
 「日光街道の徳次郎宿はヨ～ 昔大名のヨ～ 休み場所ヨ～」  
 「一度来てみな徳次郎宿のヨ～ 智賀都神社のヨ～ 大けやきヨ～」

鬼怒の船頭唄 (板戸町)

栃木県のほぼ中央を北から南に流れ江戸と結ばれる鬼怒川は、江戸時代から明治時代鉄道交通が発達するまで、物資輸送の大動脈として利用されました。沿岸には阿久津・板戸・道場宿・鎗山・石井・石法寺等の河岸(川の港)が栄え、流路には小鵜飼船が行き来しました。その小鵜飼船の船頭たちが歌った唄が鬼怒の船頭唄です。

鬼怒の船頭唄は、現在、「鬼怒の船頭唄保存会」が中心となって歌いついでいますが、元は人々が記憶していた唄を民謡調に改良して歌っていたのが元唄といわれています。これをNHKラジオで聞いた鬼怒の船頭唄初代会長の増井満が後世に残そうとして、1992(平成4)年に保存会を結成し、歌詞を板戸河岸にちなんで全面的に変えたものといわれています。

船頭唄は、流れがおだやかになり橋で漕ぎ出したところで歌われたものです。歌詞は変わっても、のどかな橋こぎ唄の調べは変わりません。今では全国大会が開催されるほど多くの人に唄われています。



▲智賀都神社



▲鬼怒川



▲鬼怒の船頭唄を歌っている様子 (清原北小学校)

鬼怒の船頭唄を保存し、広めるために「鬼怒の船頭唄全国大会」が開催されていて、多くの人が参加しているよ。



# 宇都宮の民話

## ① 『釣天井』 (宇都宮城・本丸町)

江戸時代の初めごろ、当時の宇都宮城主本多正純が、日光を参詣した帰りに宇都宮城に立ち寄る予定だった將軍を、釣天井をしかけた御成御殿で殺そうとしたという話です。

## ② 『汗かき阿弥陀』 (一向寺・西原2丁目)

何か異変が起きる直前に汗をかいて知らせてくれる仏様と言われています。これまで、関東大震災の直前、宇都宮空襲の前日などに汗をかいたと言われていました。

## ③ 『大豆三粒の金仏』 (善願寺・南大通り1丁目)

あるとき、旅の僧侶が「これを境内にまいて実った大豆を多くの人に分け増やしてゆけば、やがて資金が得られるだろう。」と大豆三粒を残していき、その10年後に大仏を造ることができたとされています。努力の積み重ねの大切さを今に伝えています。

## ④ 『だいだら坊』 (今里町)

昔々、山を造るのが好きな、だいだら坊という大男がいました。ある日、出羽(現在の山形県)の羽黒山の端を手ですくってモッコで運ぶとちゅう、下野国(現在の栃木県)で土を落としてしまい、この土の塊が宇都宮の羽黒山となったと言われています。(だいだら坊は、ダイダラボッチとも言われ、日本各地に湖や山を造ったという伝承が残されています。) → p.54

## ⑤ 『孝子桜』 (古賀志町)

「死ぬ前に桜の花を見たい」という病気の父親の願いをかなえるため、息子が大日如来に一心にお祈りをしたところ桜の花がさき、父親は喜びながら静かに息を引き取ったという親孝行の話です。

## ⑥ 『百目鬼』 (埴田町)

長岡の百穴に住んでいた「百目鬼」という鬼が、鬼の世界からぬけたいと願い、埴田の本願寺へ熱心に通い続けたところ、ついに人間に生まれ変わることができました。そして、この寺の周辺(現在の「百目鬼通り」周辺)を百目鬼という地名でよぶようになったと言われています。(「百目鬼」の由来については、別な言い伝えもあります。)



▲宇都宮城



◀汗かき阿弥陀



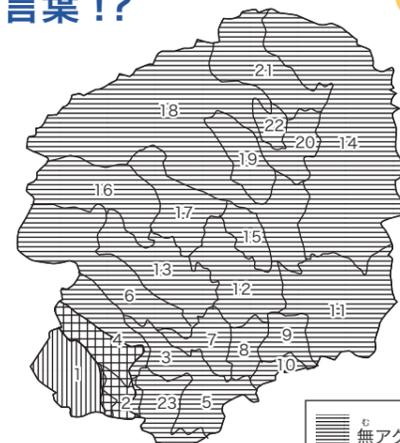
▲大豆三粒の金仏



▲孝子桜

# 宇都宮の言葉 (栃木方言) って…… どんな言葉 !?

栃木の方言は栃木弁ともいわれます。茨城県の茨城弁とともに東関東方言というグループに分けられますが、東北方言と似ているところもあり、発音や文法の特徴などは福島弁と共通するところが多いです。ただし、栃木弁といっても県内すべてで共通する言葉ではなく(隣町に行くと会話にならないことも!?)、宇都宮市がある県の中央と、県北(那須塩原市他)、県西(日光市他)、県東(益子町他)などに分かれ、また県の南西部では西関東方言に属する足利弁を話します。



1 足利市	9 真岡市	17 今市市
2 佐野市	10 芳賀郡	18 塩谷郡
3 栃木市	11 芳賀郡	19 矢板市
4 安蘇郡	12 宇都宮市	20 大田原市
5 小山市	13 鹿沼市	21 黒磯市
6 上野原郡	14 那須郡	22 那須郡
7 下野原郡	15 河内郡	23 下野原郡
8 河内郡(南)	16 日光市	

■ 無アクセント  
 ■ 東京式アクセント  
 ■ 曖昧アクセント

(出典『栃木県方言辞典 改訂増補』)

## 栃木弁の特徴

● アクセントによる単語の区別をほとんど持たない。



あめ( )とあめ( )。

ぼくはどっちも同じにしゃべるね。



私はアクセントを変えてしゃべるよ。

標準語

雨…… あめ

飴…… あめ

● 尻上がりのイントネーション、歯切れのよさ



栃木弁はお尻が上がってかわいって、東京で評判になってるよ。

でも、歯切れがよすぎて荒っぽっていう人もいるみたいなんだ。



## みんなも使ってる? 栃木弁

栃木弁	標準語
● 「いじやける」	← 「腹が立つ」
● 「うら」	← 「後ろ」
● 「こわい」	← 「つかれた」
● 「だいじ」	← 「大丈夫」
● 「わすら」	← 「いたずら」



## 本



# 3 宇都宮の祭りと民俗芸能

みんなそく



▲やぶさめ（菊水祭）

①

ちょうちん

②

はっぴ

③

ししまい

④

おみこし

## わかるかな？

下の①～④の写真とつながりの深いものについて、名前と番号を線で結んでみましょう。



## つかむ

宇都宮の祭りや民俗芸能について話し合ってみましょう。

### 民俗芸能

行事の中で伝えられてきた民間の芸能。郷土芸能ともいう。

ことば

### 神楽

神をまつるために奏する歌と舞のこと。



→ p.69

## 学習問題

宇都宮に伝わる祭りや民俗芸能には、どのようなものがあるのでしょうか。



- 2年 → 道徳 ● うつのみやのまつり (地域教材)
- 3年 → 社会 ● わたしたちの市や生活の様子のお祭り
- 4年 → 社会 ● 栃木県で受けつがれてきた伝統や文化がい ● 県内の特色ある地いき音楽 ● 日本のお祭りをたずねて
- 6年 → 社会 ● 武士の世の中へ ● 江戸幕府と政治の安定 ● 町人の文化と新しい学問



## 調べる

二荒山神社の祭りや、各地の獅子舞、お祭りについて調べよう。

## 二荒山神社の祭り

宇都宮の町の中心に位置し、宮っこにとってずっと心のよりどころの二荒山神社。ここでは、歴史の古さと格式の高さを伝える祭りが季節ごとに行われています。

→ p.66～69



毎年1月15日と12月15日に開かれている『おたりや』ってどんな意味なんだろう？

→ p.69



7月の天王祭では、40基の子ども神輿が市内を練り歩き、神社にある親神輿と対面後、二荒山神社の階段を上っていった。

→ p.66



10月の菊水祭で、やぶさめを見たことがあるよ。すごい迫力だったよ。



菊水祭のときには、大きい山車やきれいな彫刻がある屋台が市内を練り歩いているね。



天王祭や菊水祭以外に、二荒山神社で開かれているお祭りには何があるのかな？



▲おたりや



▲子ども神輿の石段上がり（天王祭）



▲やぶさめ（菊水祭）



▲本郷町の人形山車

## 二荒山神社宮司 阿部 懐さんのお話



二荒山神社では、四季を通じてさまざまなお祭りを行っています。それぞれ重要な意味を持っており、人々の無病息災、五穀豊稔の祈念、神様への感謝、郷土の繁栄・平安などを願い行われています。

古くから続き、歴史あるこれらのお祭りは、いつの時代も人と人を結びつけ、人々の楽しみとしての役割も果たしています。そのため、神社は地域の中心としての役割も担っているといえます。

これからも伝統ある祭りを大切に守り、次世代につなげていきたいと思っています。



▲関白獅子舞



## 宇都宮の獅子舞

宇都宮市内には、7つの地域でそれぞれの獅子舞が伝えられています。一人が1匹の獅子を演じて、腹に太鼓をつけ、雄2匹、雌1匹の3匹で踊ります。毎年8月には、各地域で獅子舞が踊られ、地域の保存会によって大切に守られ、次の世代へと伝えられています。

### 天下一関白獅子舞保存会会長 村上 實さんのお話



天下一関白獅子舞（関白獅子舞）は、栃木県内各地に今も伝わる関白流獅子舞の中でも一番歴史が古く、関白流獅子舞の源流です。栃木県の獅子舞を知る上でも貴重なものとなっていることから、栃木県の無形民俗文化財にも指定されています。

獅子舞の演目は、神詣りをはじめとして、7つありますが、どれも重要な意味もっています。

獅子舞の奉納の前には、入念に練習を行い、数日前から地域で協力して準備を行っています。地域のつながりといった面でも、獅子舞の果たしている役割は重要だと思います。

保存会をはじめとする地域住民は、関白獅子舞を誇りに思い、愛着をもって取り組んでいます。次の世代に継承することができるように、若い人たちにも、もっと参加してもらって、伝統を守ってほしいと思います。

じっくり見比べてみると、ちがいが分かるぞ。



▲関白



▲中里西組



▲逆面



▲宗円



▲関堀



▲上横倉



▲飯山

獅子舞	行われる日	内容
関白獅子舞	8月第1土曜日	かみかわち 上河内地区の関白山神社の祭礼で、あくまばら 悪魔払い、家内安全、やくなんしょう 厄難消除として行われる獅子舞
なかざとにくみ 中里西組獅子舞	8月15日	わた 中里西組自治会で長きに渡り伝承されている天下一関白流御神獅子舞
さかづら 逆面獅子舞	8月15日、 ほつさく 八朔(旧暦8月1日)	ごこくほうじょう 五穀豊穰・しそんはんえい 子孫繁栄・きかん 家内安全を祈願して逆面の白山神社に奉納される、関白獅子舞の流れをくむ一人立三匹獅子舞
そうえん 宗円獅子舞	8月16日、 8月の最終日曜日	にっさと おつしんごう 宇都宮市北西部に位置する、新里町乙新郷地区の日枝神社で奉納される獅子舞
せきぼり 関堀獅子舞	8月16日	みなもとよしえ 源義家が奥州を平定したときに京都御所で舞われていたものを残したと伝えられ、関沢の観音堂で奉納されている獅子舞
かみよこくら 上横倉獅子舞	8月15日	えど 関白流を名乗り江戸時代中期に伝えられたもので、多藤神社に奉納されている獅子舞
いいやま 飯山獅子舞	8月15日	あそ 宇都宮市北部に位置する飯山地区の阿蘇神社に奉納される獅子舞

## まとめる



宇都宮の祭りや民俗芸能についてまとめてみましょう。

二荒山神社の祭り	● どんなお祭りがあるか書いてみよう
宇都宮の獅子舞	● 獅子舞についてわかったことを書こう
書いてみよう 自分の地域に伝わる お祭りや民俗芸能を	



## ひろげる

宇都宮の祭りや民俗芸能についてまとめて、考えてみましょう。

今も残る祭りや民俗芸能は、神様に豊作の願いと実りへの感謝をするとともに、人々の健康、くらしの安全等を祈って行われてきました。また、祭りや民俗芸能を通して、地域の人々がつながっていきました。時代が変わっても、この思いは変わりません。

人々の願いや思いがこめられた祭りや民俗芸能は、地域の人々や保存会、関係者の方々によって今も大切に守られ、次の世代へと受けつがれています。

それぞれの祭りや民俗芸能には特徴があり、どれも宇都宮を代表するものです。実際に見てみたり、参加したりして、人々の祭りや民俗芸能に対する思いや願いを感じてみましょう。

## ● 宇都宮の祭り

# 夏

### 各地で行われる天王祭

天王祭はもともと、疫病退散に靈験のある牛頭天王の祭りで、疫病がはやる夏を前に行われます。二荒山神社の天王祭のほか、今泉八坂神社、石那田八坂神社のほか、市内各地の八坂神社や須賀神社などでも祭りが行われています。



### 二荒山神社天王祭

二荒山神社の境内社として須賀神社があり、以前は牛頭天王を祭っていたことから、天王祭が行われています。7月15日から20日に行われる祭りでは、各町内の約40基の子ども神輿が下之宮に安置された親神輿と対面し、その後掛け声とともに一気に神社の石段を駆け上がるので、迫力あるその姿は夏の風物詩となっています。



### 今泉八坂神社の天王祭

7月15日から19日に行われます。神輿渡御のほか、江戸中期から毎年境内に飾られる「飾り物」は、夏祭りの名物です。

### 石那田八坂神社の天王祭

7月の最終土曜日まで1週間かけて行われる祭り。4年に一度、神輿の渡御とともに猿田彦や彫刻屋台が巡行する付け祭りが行われます。

### 各地で行われている天王祭

宇都宮市内各地にある八坂神社や須賀神社などで、神輿渡御等の祭りが行われています。

動画で祭りの様子を見てみよう。



### 智賀都神社の夏祭り

徳次郎町六カ郷の守護神である智賀都神社の夏祭りは、例大祭の付け祭りとして3年に一度（令和元年実施）、7月最終土曜日（かつては8月1日）に行われる祭りで、目の覚めるような彫刻屋台6台が、境内に勢ぞろいします。

本祭り当日、屋台が出発するのは夕暮れ時からで、屋台本体の周囲に120個もの提灯がともされ、威勢のよいお囃子の音が響き渡り、引き手の掛け声とともに力強く巡行します。



### 天祭と天棚

天祭は、天道祭、天念仏とも言われ、月や太陽などの自然の神々に、五穀豊穡や風雨順調、村内安全などを祈るお祭りです。彫刻で飾られた二階建ての天棚を設置します。二階で、身を清めた行人が願いごとをし、一般の参加者はお囃子の音に合わせて天棚の回りをぐるぐる回り、行人の願いを助けます。市内には確認されているだけで60基以上の天棚があり、以前は市内各地で天祭が行われていました。



現在は少なくなってしまったが、最近復活する動きも見られるぞ。



### 新しい祭り

これまで見てきたような伝統の祭りと同じように、宮っこたちが宇都宮のことを思った新しい祭りが始まっています。

こうした祭りは、おみこしやお囃子、また、鳶木遣りや金堀唄などの貴重な伝統芸能を今の人たちに披露する大切な場になっています。 → p.58

### ふるさと宮まつり

毎年開催される夏祭り。宇都宮のメインストリート、大通りを中心にくり広げられる熱狂的なイベントです。

みこし・パレード・郷土芸能・おどり・お囃子・和太鼓・鳶木遣り・梯子乗り・金堀唄のほか、宮っこよさこいなど多彩な催しが宇都宮の夜を飾ります。



●宇都宮の祭り

# 秋



梵天が練り歩く道路ぞいでは、名物の柚子や、梵天祭の行事食『鮎のくされ鮓』などが売られているぞ。

→ p.79



## 梵天祭り

梵天とは神様を招き寄せる目印で、もとは、細長く切った和紙や麻でつくったものを竹の先につけていました。現在ではビニールテープなどを房状に取り付けています。

今里町の羽黒山神社の梵天祭りが特に有名で、毎年多くの見物客が集まります。梵天祭り(11月23日、24日)は五穀豊穡、家内安全を願い「梵天」を神社に奉納する盛大なお祭りで、梵天の房が付けられた長

い竹竿を、祭り衣装に身を包んだ若者たちがかつぎ、「ホイサ、ホイサ」と威勢のよい掛け声とともに羽黒山頂上にある羽黒山神社まで3kmほどの参道を練り歩きます。

→ p.15

梵天祭りは、鶴田町の羽黒神社や白沢町の白髭神社、平出町の雷電神社でも行われ、篠井町の榛名山神社でも梵天あげが行われます。



## 白髭神社の秋祭り

白沢町の屋台の巡行は、白髭神社の例大祭の付け祭りとして、5年に一度(平成30年実施)、11月初旬の土・日曜日に行われます。町内を彫刻屋台(宇都宮市指定文化財)2台が巡行し、鳥居前ではお囃子が奉納されます。前日は自分の町の町内を引き回す「宵祭り」、例大祭当日が神社に屋台を奉納する「本祭り」です。ちなみに付け祭りは、明治初期ごろには行われていた

ようです。屋台は白沢南と甲部に1台ずつ計2台あり、いずれも唐破風屋根の館造りで、四方八方に華麗な彫刻が付いた屋台です。白沢南屋台は、黒漆塗り彩色彫刻屋台で、文政3(1820)年に鹿沼麻苧町で造られたものを、明治8(1875)年に譲り受けました。一方、甲部屋台も同じく黒漆塗り彩色彫刻屋台で、天保4(1833)年ごろ宇都宮で造られたものを譲り受けたと伝えられています。

屋台の巡行は、宵祭りが午後3時から午後9時ごろまで、本祭りは午前9時から午後1時ごろまで行われます。行列は高張提灯を先頭に、手古舞、町会役員、拍子木、引き手、舵取り(若衆)、屋台の順に進みます。神社鳥居前では、宵祭りは午後8時ごろ、本祭りは正午ごろ、お囃子の競演である「ぶっつけ」がにぎやかに行われ、笛、太鼓、鉦の威勢のよい音が町内に響き渡ります。



## 二荒山神社の祭

### 冬渡祭・春渡祭(おたりや)

宇都宮市民に一年の終わりのや正月の終わりを告げる夜祭。始まりは、古く833年までさかのぼると言われています。夜中に行われるため「渡り夜」とよぶようになり、後に「おたりや」とよばれるようになったと伝えられています。

現在では、12月15日と1月15日に行われ、12月を「冬渡祭」、1月を「春渡祭」と書き、どちらも「おたりや」とよびます。

境内に設けられたお焚き上げ所では、冬渡祭ではお札や達磨などの縁起物を、春渡祭では正月の松飾りや注連飾りを焚き上げてもらいます。



### 田舞祭

田楽舞は二荒山神社の田舞祭で行われる五穀豊穡を祈念する舞いです。二荒山神社で現在の田楽舞が行われるようになったのは、江戸時代文化年間のころ。夏の初めの田植えの時季に五穀豊穡を祈念して田楽舞が神社の祭礼行事に取り入れられたものと考えられています。田舞祭は現在では5月15日に行われています。また田楽舞は、田舞祭のほかに、12月15日と1月15日の「おたりや」でも奉納されます。



### 神楽 — 神様をもてなす神事 —

二荒山神社の神楽は太々神楽とよばれ、江戸時代中ごろに江戸系統に属する神田流から教わったと伝えられ、神社では「宮比流」と称し、毎年1月・5月・9月の28日に、神楽殿で奉納されています。

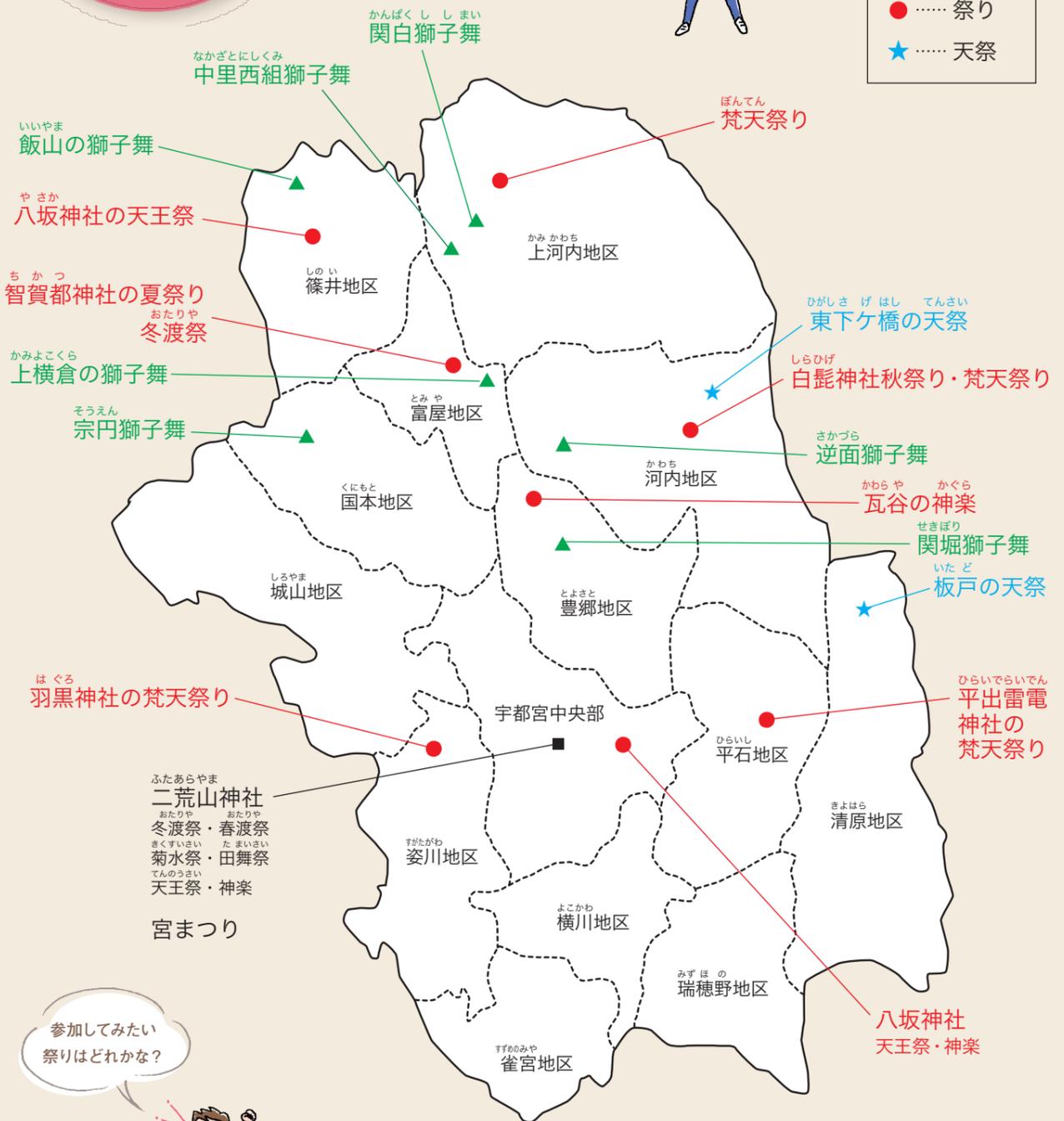


# 宇都宮市の祭りマップ

宇都宮には、  
たくさんの祭りや民俗芸能が  
受けつがれているんだね。



- ▲ …… 獅子舞
- …… 祭り
- ★ …… 天祭



参加してみたい  
祭りはどれかな？



## お囃子風の音楽に挑戦！

今も昔も、祭りを盛り上げるのにお囃子は  
欠かせません。宇都宮でも地域や流派ごとに  
さまざまなお囃子が伝えられています。  
リコーダーや締太鼓（なければ小太鼓）で  
演奏をして、お囃子のリズムや旋律を感じて  
みましょう。

作曲 栗田 智水

♩ = 152 ca.

リコーダー

締太鼓1 右左

締太鼓2 右左

ア

イ (1回目のみ)

ウ

演奏順位  
 ①→②→③  
 ①→②→③→④, ①→②→③→④など  
 ①, ②, ③を自由に組み合わせる演奏してみよう！

奏法について  
 ・締太鼓（小太鼓）をたたくときは左右の強さが同じになるようにたたこう。  
 ・強弱記号に気を付けてたたこう。